

あじろぎ

2017年度 スローガン

一致団結

～活気溢れる地域が未来を創る～



一般社団法人 宇治青年会議所

目 次

・ 2017年度 理事長挨拶	3
・ 2017年度 組織図	4
・ 2017年度 出向者一覧	4
・ 2017年度 対外事業出向先	5
・ 2017年度 活動報告	6
・ 1年間を振り返って（2017年度委員長）	22
・ 宇治青年会議所活動を振り返って（2017年度 卒業生）	23
・ 2018年度 理事長所信	25
・ 新入会員募集要項	27

●青年会議所とは

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。

共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。

さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

●青年会議所の特性

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られます。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていきます。

青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

●J C I（国際青年会議所について）

自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成を目的として、1915年にアメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた小さな青年活動グループから始まったJC運動は、その活動が認められ、アメリカの社会的活動を担う主要な青年団体へと発展していきました。

1944年には「積極的な変革を創り出すのに必要な指導者としての力量、社会的責任、友情を培う機会を若い人々に提供することにより、地球社会の進歩発展に資すること」を使命に、アメリカ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマの8カ国によって国際青年会議所（JCI）が発足。その後、年々加盟国は増え、日本も1951年に加盟、JCIの一員として新たな活動の一步を踏み出しました。

会員数17万人以上の世界で最も大きな青年団体です。現役メンバーに加え約250万人以上のOBがいます。

毎年11月には世界会議が開催され、世界中のメンバーが一堂に会する重要な国際交流の場となっています。

2017年度 理事長挨拶



2017年度 一般社団法人 宇治青年会議所
第48代 理事長 石山 高志

はじめに、平素は一般社団法人宇治青年会議所の運動・活動に、深いご理解とご協力を賜っております行政並びに関係諸団体の皆様に心より深く感謝申し上げます。また、メンバー・特別会員の皆様には、一年間お支え頂き本当に感謝しております。

本年度、「一致団結 ～活気溢れる地域が未来を創る～」をスローガンに掲げ一年間、運動・活動をして参りました。理事長として一年間を振り返ると、理事長所信に掲げた事がしっかりとできているのか？自問自答を繰り返す中、もっとこうすれば良かった、もっと出来たはずと思に残す部分も正直あります。様々な場面において、達成感を感じる部分もありましたが、しっかりと計画し準備をもっと大切にすれば良かったと感じています。理事長として力不足を痛感する一年でもありました。しかし、下半期には、メンバーそれぞれが個々の役割をしっかりと果たし活動をしていく中でお互いに助け合い、切磋琢磨しながら事業の準備を全員で取り組む姿を見られた事が、スローガンに掲げたLOMの一致団結に繋がったと確信します。

本年度は、十三年ぶりに公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会 第45回京都ブロック大会を主管させて頂きました。地域の皆様へ青年会議所の存在を改めて強く示し、自らが住まう地域を想う心と魅力を発信する事ができたと考えております。メンバーの皆様には、この大会で得た学びや気づきを、自信をもって活かして頂き、活気に溢れた地域の発展に繋げて欲しいと思います。

本年度、初の試みとして、我々の活動エリアに住む中学生3名と共に、マレーシア・ペナン島で開催されたアジア青少年交流事業に参加をしてきました。近年においてはグローバル化が進み、次代を担う子供たちが海外に興味を持つ事が重要であると考えます。私自身、この青年会議所に入会し、海外の方々との友情を育み、非常に良い経験をさせて頂きました。子供たちにも早い段階から海外の子供たちと友情を育み交流し、文化の違いや価値観の違いを知る事が、後の人生においても必ず良い経験、学びに繋がると確信致します。

人間力の向上を目的とした事業では、歴代理事長でもあります第32代理事長の志水先輩にご講演を頂き、青年会議所での様々な経験が現在にも生かされているというお話をさせて頂きました。ご講演の中で、印象に残っているのは、全ては他人のため、地域のために活動する事が、最終的には自分のために繋がる事を学ばせて頂き、メンバー自身が次年度以降の活動、運動に対して更なる発展に繋げてもらいたいと考えます。

11月には、まちづくり事業として、「ホップ ステップ ワーク2017」を開催しました。親子50組に参加して頂き、特に子供たちにスポットをあて、地域の方々や家族とのコミュニケーションをとる機会、そして、地域の魅力に触れて頂きました。地域の仕事体験を通じて、子供たち自らの将来や地域の未来を考えて頂く事が出来たと考えます。次代の地域を支える人材を含め、地域資源の発展に繋がる事が出来ました。

一年間、支えてくれた宇治青年会議所理事、メンバーの皆様、特別会員の皆様、また、行政並びに他団体の皆様、そして、従業員や家族、様々な場面で大変ご迷惑をおかけしたと思います。しかし、皆様が支えてくれたからこそ理事長という重職をやりきる事ができました。本当に本当に心から感謝申し上げます。一年間お世話になり、ありがとうございました。

●公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会

ブロック大会運営委員会

委員長 大山 植泰
 総括幹事 木本 裕章
 会計幹事 市原 鉄平
 委員 角田 盛樹
 委員 北谷 優輔
 委員 大井 一
 委員 所 孝一

総務情報委員会

副委員長 久保田 雄久
 委員 内良 親正

公益財政委員会

委員 岩城 宏史
 委員 辻 雄介

J C 運動推進委員会

委員 河野 裕之

J A Y C E E 育成実践委員会

委員 長島 直人

国際交流推進委員会

委員 左 聡一郎

会 員 の 主 な 対 外 事 業 出 向 先

- 宇治市廃棄物減量等推進審議会
- 宇治市青少年健全育成協議会
- 宇治市平和都市推進協議会
- 宇治市献血推進協議会
- 宇治川マラソン大会（顧問・参与・実行委員）
- 宇治市・久御山町暴力追放対策協議会
- 宇治市行政改革進行管理委員会
- 宇治市男女共同参画審議会
- 紫式部文学賞イベント実行委員会
- 宇治川花火大会実行委員会
- クリーン宇治運動推進協議会
- 宇治市都市計画審議会
- 宇治市環境保全審議会
- 宇治市共同募金
- 「宇治茶と源氏物語」スイーツイベント実行委員会
- 宇治市交通安全対策協議会
- 宇治市行政改革審議会
- 宇治市国際親善協会運営部会
- 天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会
- やましろ未来っ子小学校E K I D E N 実行委員会

※2017年12月現在

活 動 報 告 （ 他 団 体 主 催 事 業 へ の 協 力 ）

日付	内容
2月26日	一般社団法人 宇治市体育協会主催 第34回宇治川マラソン大会
3月11日、12日	宇治サッカー協会主催 第18回宇治チャレンジカップ少年サッカー大会
3月11日	文化少年団 卒団式
4月16日	宇治茶と源氏物語」スイーツイベント実行委員会主催 宇治太陽ヶ丘スイートリレーマラソン
10月21日	宇治田楽まつり
12月2日	やましろ未来っ子小学校E K I D E N
その他	クリーン宇治活動 宇治文化少年団の各種事業

活 動 報 告

2017 年度主要事業一覧

● 宇治青年会議所 主要事業

1 月 7 日	新春茶会（第 4 2 回初釜）・1 月例会（新春交流会）
2 月 2 1 日	2 月例会・通常総会
3 月 8 日	3 月例会
4 月 1 2 日	4 月例会
5 月 1 0 日	5 月例会
6 月 1 4 日	6 月例会
7 月 1 2 日	7 月例会
8 月 9 日	8 月例会
9 月 1 3 日	9 月例会
1 0 月 1 1 日	1 0 月例会
1 1 月 9 日	1 1 月例会
1 1 月 1 4 日	ひとづくり事業「経営者セミナー」
1 1 月 1 9 日	まちづくり事業「ホップ ステップ ワーク 2 0 1 7」
1 1 月 2 2 日	F T セミナー（※ F T とは青年会議所に入会して 3 年未満のメンバー）
1 2 月 9 日	1 2 月例会（卒業式例会）
1 2 月 2 6 日	臨時総会

● 公益社団法人 日本青年会議所 主催事業への参加

1 月 1 9 日～ 2 2 日	京都会議
2 月 1 7 日～ 1 9 日	金沢会議
6 月 8 日～ 1 1 日	A S P A C ウランバートル大会
7 月 2 2 日～ 2 3 日	サマーコンファレンス 2 0 1 7（横浜）
9 月 2 8 日～ 1 日	全国会員大会 埼玉大会

● 公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区協議会 主催事業への参加

7 月 8 日～ 9 日	近畿地区大会 尼崎大会
--------------	-------------

● 公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会 主催事業への参加

3 月 2 4 日	京都ブロック 会員拡大セミナー
4 月 1 5 日	京都ブロック 憲法事業
4 月 2 9 日	京都ブロック アカデミー事業（第 1 回）
5 月 2 1 日	京都ブロック大会 宇治大会
6 月 8 日～ 1 1 日	京都ブロック 国際交流推進事業（モンゴル・ウランバートル）
6 月 2 3 日	京都ブロック アカデミー事業（第 2 回）
8 月 2 6 日	京都ブロック アカデミー事業（第 3 回）
1 0 月 2 9 日	京都ブロック 委員会報告会並びに本次年度合同懇親会

● その他、青年会議所活動への参加

7 月 2 6 日～ 1 日	J C I のアジア少年少女交流事業に参加（マレーシア・ペナン）
1 0 月 9 日	南部 3 L O M 合同事業 衆議院議員選挙 京都 6 区公開討論会開催

2017 年度主要事業概要



日時：2017 年 1 月 7 日（土）

場所：宇治市観光センター（受付）・宇治市営茶室 対鳳庵（茶席）・辰巳屋（七草粥）

来場者数：45 名

2017 年度も新春茶会から新年開始。本年度は対鳳庵において茶道を通じて招待した方々にご挨拶を申し上げるとともに、1 月 7 日にちなんだ辰巳屋で七草粥の提供も行い、参加いただいた方からご好評いただきました。



1 月例会（新春例会）



日時：2017年1月7日（土）

場所：花やしき 浮舟園

2017年度、新たな組織体系で出発する宇治青年会議所の基本方針を発信し、府内各地青年会議所のメンバーに意気込みを感じてもらいました。また本年度は、香港のブヒニア青年商会からもご参加いただきました。

2 月例会・通常総会



日時：2017年2月21日（火）

場所：宇治市産業会館

本年度の例会では委員会タイムを設定。2月例会では総務委員会の木本裕章委員長による「JCに関する基礎情報」のプレゼンテーションが行われ、JCの存在意義や活動目的等について学び、地域に求められる組織であり続けることの重要性を確認する有意義な時間となりました。また例会の後には総会を開催しました。



3 月例会



日時：2017年3月8日（水）

場所：宇治市中央公民館

各委員会の取り組み状況や出向先の委員会の報告があり、特に最重要課題である会員拡大についてメンバー全員で意識の共有を図りました。また、例会に先駆けて、京都ブロック協議会より会員拡大推進事業、アカデミー事業、そして国際ミッション事業のPRが行われました。当日はブロック大会運営委員会も開催され、例会後は宇治青年会議所とブロック大会運営委員会とで懇親を深める交流会が行われました。

4 月例会



日時：2017年4月12日（水）

場所：宇治市中央公民館

「各委員会の取り組み状況や出向先の委員会の報告がありました。また、例会に先駆けて、宮津青年会議所の周年事業のPRや、第45回京都ブロック大会宇治大会のPRが行われました。委員会タイムでは、青年経済人としてのマナー講座が開催されました。」

5 月例会



日時：2017年5月10日（水）

場所：宇治市中央公民館

例会後にスポーツ交流会として、オブザーブの皆さまとメンバーでチームを組んで野球大会を開催いたしました。スポーツを通じて共に汗を流し交流を深め、青年会議所の存在意義や活動内容等を理解いただく有意義な機会となりました。



第45回京都ブロック大会



日時：2017年5月21日（日）

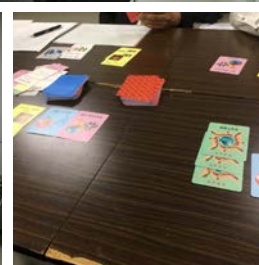
場所：宇治市文化センター、山城総合運動公園

本年度は、京都ブロック大会を宇治青年会議所が主管のもと開催し、宇治文化センターにおいては、馳浩元文部科学大臣、白波瀬宗幸裏千家業跡を招いての教育再生フォーラム、藤井聡京都大学大学院 工学研究科教授、影山摩子弥横浜市立大学国際総合科学群比較社会システム論教授、大道芸人ハマー氏を招いての経済再生フォーラム、山城総合運動公園では京都スマイルフェスタを行いました。

ブロック大会運営委員会の大山委員長をはじめとした出向者を中心に、宇治メンバーが一致団結してブロック大会の成功に向け取り組みました。



6 月例会



日時：2017年6月14日（水）

場所：宇治市中央公民館

松江奈美子君の入会式を実施しました。また委員会タイムでは、日本青年会議所の安全保障カードバトルを行いました。カードゲームで大いに盛り上がりながら、日本の安全保障について学びました。

近畿地区大会 尼崎大会



日時：2017年7月8日（土）～9日（日）

場所：阪神尼崎駅前

「今年の近畿地区大会は尼崎で開催され、石破茂衆議院議員によるフォーラムが行われました。また宇治青年会議所としては、フェスタにおいて宇治のお茶を使用した茶重飯をふるまい、多くの方に召し上がっていただきました。」

7 月例会



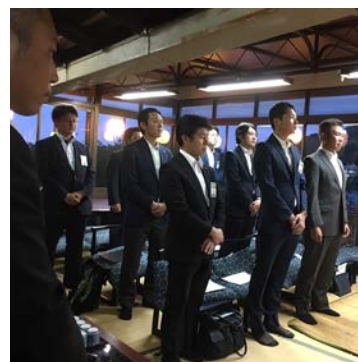
場所：宇治市中央公民館

アジア少年少女交流事業



場所：マレーシア ペナン

8 月例会



日時：2017年8月9日（水）

場所：料理旅館 鮎宗

「夏の納涼会を開催し、年度後半に向けてメンバーがさらに一致団結して行動すべく交流を図りました。また京都ブロック協議会によるアカデミー事業のPRが行われました。」

9 月例会



日時：2017年9月13日（水）

場所：宇治市産業会館

「京都ブロック協議会の最後の事業である本年度懇親会のPRがありました。またメンバーそれぞれがJCに対する想いを発表し今後の会員拡大に向けて考え方を共有しました。」

10 月例会



日時：2017年10月11日（水）

場所：宇治市中央公民館

「歴代理事長でもある中谷会長をはじめ、宇治田楽まつり実行委員会の皆様が、宇治田楽まつりのPRに來られました。また委員会タイムでは、宇治、久御山、宇治田原を題材に連想クイズを実施し、地域の魅力を再発見する良い機会となりました。

11 月例会



日時：2017年11月 8日（水）

場所：料理旅館 鮎宗

JC 説明会を開催し大変多くの方にオブザーブとして参加いただきました。外国籍のオブザーブもいらっしゃるなど新たな出会いの中で、盛り上がった例会となりました。

ひとづくり事業「経営者セミナー」



日時：2017年11月14日（火）

場所：ゆめりあうじ

歴代理事長の志水先輩をお招きして、メンバーの青年会議所活動に対する考え方、仕事に向き合う姿勢を変える事で今後の成長に繋がるセミナーを開催しました。

F T セミナー



日時：2017年11月22日（水）

場所：榎島コミュニティーセンター

入会3年未満のメンバーを対象にFT セミナーを開催しました。青年会議所の基本的なルールと、組織について、関副理事長を講師に実施し、FT メンバーは熱心に耳を傾けていました。

まちづくり事業「ホップ ステップ ワーク2017」



日時：2017年11月19日（日）

場所：宇治市植物公園

小学生を対象に、野菜の出荷準備体験、石臼でのお茶葉挽き体験、バスボム制作、写真立ての製作など職業体験ができる事業を実施しました。親子が協力して、取り組む姿が印象的でした。



12月例会（卒業式例会）



日時：2017年12月9日（土）

場所：新・都ホテル

本年度で卒業される、江口滋基君、関智和君、河崎伸哉君、松江奈美子君の卒業を祝して、卒業式例会および懇親会を開催しました。



クリーン宇治事業



日時：2017年3月5日（日）、7月2日（日）、9月3日（日）

場所：横浜の京浜バイパス高架下周辺

石山理事長が代表を務めるクリーン宇治活動は年に3回市内各地で実施しています。積極的に清掃活動をしました。

姉妹JC訪問（ブヒニア青年商会・香港）

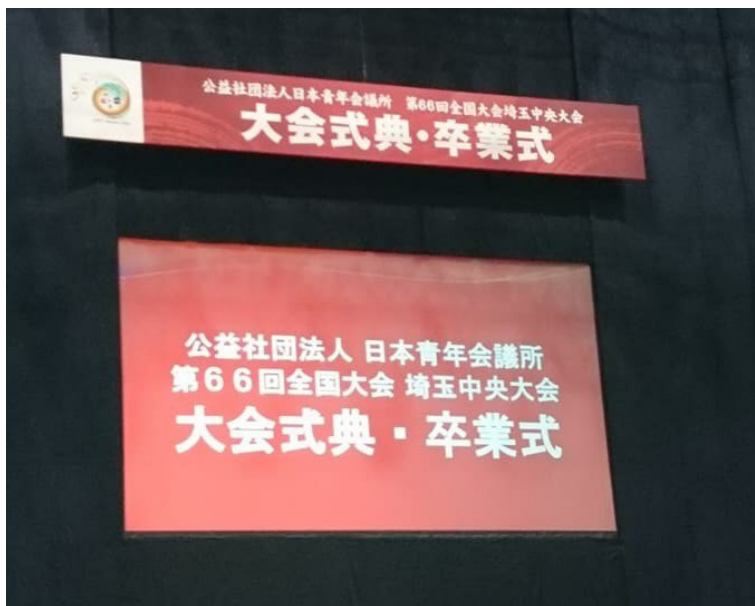


日時：2017年1月14日（土）

場所：香港

姉妹JCである香港のブヒニア青年商会の1月例会に参加しました。

全国大会 埼玉中央大会



日時：2017年9月28日～10月1日

場所：さいたまスーパーアリーナ

埼玉で行われた全国大会に参加しました。全国各地の青年会議所メンバーが集まり、卒業生を祝福しました。

宇治田楽まつり



日時：10月21日（土）

場所：宇治市文化センター

本年度の宇治田楽まつりは、お茶の京都博と同時に2日間開催の予定でしたが、台風接近のために宇治文化センターで1日だけの開催となりました。

近畿地区・京都ブロック事業



第48回衆議院議員総選挙京都第6選挙区公開討論会 (南部3LOM合同事業)



日時：10月9日（月）

場所：パルティール京都

京都第6区の立候補予定者にお集まり頂き、ご自身の政策について熱く語って頂きました。各候補者の政策について知ることができ、政治について考える良い機会となりました。

2017 年度 委員長 1 年間を振り返って



総務委員会 委員長

木本 裕章

今年度は初めて理事となり総務委員長を経験しましたが、試行錯誤の連続の 1 年でした。入会 3 年目の F T で委員長となり、まだまだ J C のことを知らないまま 1 年がスタートし、基本の部分ではこれまでのスタイルを踏襲する状況でありました。ただ日本 J C が主催するスプリングスクールや、京都ブロック大会など、宇治以外の J C の事業を経験する中で、改善すべきところは改善してまいりました。

初釜では事業では、本年度は点心の代わりとして七草粥の提供を実施しました。例年の初釜事業を詳しく把握していない中で、新たなことを実施しようとしたため、私自身がいっぱいいっぱいでしたが、委員メンバーの協力もあり、無事に好評で終わることが出来たと思います。

また例会については前半は準備が十分ではない日もありましたが、後半からはゴングの扱い方を変更したり、クリード等の唱和者の座る位置を固定するなど、細やかな改善を重ねてまいりました。

本来ならば年度当初からすべて万全の体制を取ることが出来ればよかったのですが、それが出来なかったことが反省点でもあると同時に、今年 1 年の私自身の成長の証ではないかと考えております。J C では単年度制であり誰もが年度当初は未経験の役職に就くことになりますが、私自身が初理事として年度当初に苦労したことを次年度以降理事にあがる方々にしっかりと伝達し、組織全体としての経験の継承が出来るように今年 1 年の経験を活かしていきたいと思います。



会員拡大委員会 委員長

阪本 直樹

本年度、諸事情により途中からの初理事に昇格し、会員拡大委員会の委員長をつとめることになりました。最初は、例会の設えや議案作成など慣れない業務に四苦八苦しておりましたが、担当副理事長や委員会メンバーの手助けもあり、何とか無事に委員会を進めていく事ができました。

まちづくり事業では、小学生親子を対象に宇治青年会議所メンバーの職業を生かした職業体験ブースを設け、親子や地域の大人とのコミュニケーションの場を提供し、地域資源に関心を持っていただくことを対外的にホップ！ステップ！ワーク！2017を11月に開催いたしました。広報に不安が残りましたが、メンバーの動員と会場を提供くださった宇治市植物公園様の協力のもと、非常に寒い中ではありましたが何とか予定参加数を超える事ができました。事業の準備につきましても、メンバー全員が夜の寒い中で頑張り一致団結している姿を見て、本当に J C に入り委員長になって初めて良かったなと感じる事ができました。

会員拡大としましては、委員会メンバー一丸となって取り組んで、5 月に交流会として野球を実施いたしました。例会後の短い時間ではありましたが、オブザーブを含め沢山の参加者に恵まれ楽しく終える事ができました。11 月例会では、全メンバーが協力して多くのオブザーブを動員する事ができました。しかし、入会者を増やす事ができず、私としましては不甲斐ない気持ちでいっぱいです。

私は今年、委員長として恵まれた環境のもとで助けられ、教えられ、慰められた一年ではありましたが、来年はさらに自分自身と宇治青年会議所がさらにより良く活動できるように頑張っていきます。ありがとうございました。

2017 年度 卒業生 宇治青年会議所活動を振り返って



江口 滋基

2003年に宇治青年会議所に入会し14年間、お世話になりました。当時は80名近いメンバーがおられ、名前を覚えるのも大変だったことが懐かしくおもいます。あの頃は自分自身が理事になるなんて考えもできませんでしたし、まして、理事長をという大役を務めると想像もできませんでした。毎年新しい役職を経験し時には挫折しその度に周囲の人に励まされ、自分自身が少しずつ成長して、まだまだ自分は変化の余地があるんだと感じた14年間でした。

私が大きく成長する機会になったのは2013年に専務理事をする機会をいただいた事です。その年は近畿地区大会を主管LOMとして、ましてや、主管の専務になるので、本当に大変な1年でしたし、京都府内の専務にも支えてもらいメンバーにも無理なお願いや、強制できに参加させたこともありました。この1年が、今後の私に近畿地区協議会に深く関わる機会を与えてくれました。

翌年は近畿地区に総括幹事として出向し、新しい出会いもあり、未だにも仲良くさしてもらっている仲間が多くいます。そして、2016年度理事長をさせていただく機会をいただきました。かなり悩みましたが、理事長を受けさせていただき、メンバーの支えてもらい、ある時は厳しい言葉をいただき、常に決断の連続で全てが正しかったのかは、分かりませんが、何とか1年間務められました。

最後になりますが、2017年度で卒業を迎え、14年間のという長い期間を宇治青年会議所に在籍させて頂き、宇治青年会議所の現役会員の皆様、特別会員の皆様、事務局員様、ご支援、ご協力いただきながら様々な経験やJC活動をさせていただきましたことを心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



河崎 伸哉

私が宇治青年会議所へ入会したきっかけはある日突然、中学時代の同級生でもある石山理事長から会社に「JCって知ってる？」と電話がかかってきた事からはじまりました。私はJCについて全く知りませんでしたが、態々会社にまで電話をかけてきてくれたので、せっかくだし顔を出してみようかとなり、指定の場所日時にスーツを着て講演を聞きにきました。当時の私は世間を広げたいと考えていた事もあり、また同世代の人たちの集まりという事も後押しして準会員期間の後、2013年11月に正会員として入会させて頂きました。その年は宇治が主管LOMとなって近畿地区大会が開催され、沢山の来場者の中でメンバーの皆が慌ただしく会場を駆け回り、盛大な事業を成功裏に収める姿を目の当たりにして「JCって凄い団体やな。」と強く感動したことを思い出します。

実際に活動していく中で様々な事業に触れ、京都ブロックへ出向する楽しさも知り、OBの皆様や、LOMの垣根を越えたメンバーとの繋がりを体感し、仕事では味わえない達成感や充実感を得ることが出来たと同時に、もっと出来たかも知れない、やれることがあったんじゃないかという後悔や反省の思いも正直言っています。しかし、活動を通して学んだことや、事業の大小に関らず懸命に取り組んだ事実は私の宝物ですし、この力を今後の自分の人生に活かしていきたいと思っています。

JCに挺身することで出来なかったことも数多くありますが、それ以上にJCに入っていなければ生涯出来ないであろう経験や、出会うこともなかったかも知れない沢山の仲間たちとの出会いに、心から感謝しています。そして今、約5年間お世話になった宇治青年会議所を卒業させて頂くにあたり、晴れやかで少し寂しい気持ちが混同した心境にあります。宇治青年会議所に入会して本当に良かったと思いますし、JC活動の中で関わらせて頂いた全ての皆様方に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



関 智和

「宇治青年会議所?」、「JCって何?」何も知らない自分に対し、地域のことがわかる、同世代の仲間ができるからと、同じ町内の先輩からの熱心なお誘いで私が宇治青年会議所に入会したのが2007年でした。それからあっという間に10年という月日をメンバーとして過ごし、振り返れば宇治青年会議所で理事6回と監事1回、京都ブロック協議会役員1回を経験させていただき、多くの学びと人との繋がりを得ることができたと感じています。

入会当初は、仕事の予定が少しでも被るとたいした調整もせずに欠席の返事をして、都合の合う時にだけ出席するようなメンバーでしたので、JC活動を10年したとはなかなか言えないというのが正直な気持ちです。そんな自分が少しずつJCを大切にするようになったのは、役職を依頼され、受けるようになってからでした。先輩方が自分の想いをかたちにしようと事業を必死で構築する姿を見ながら、自分も何かしなくてはという気持ちになり、できる範囲で自分の役割を全うしつつ事業をやり遂げ、それを先輩方と共に喜べるようになった頃から私のJCへの参加率は徐々に上がっていったと記憶しています。そして、少し背伸びをして新たな役職にチャレンジし、自分のできる範囲そのものを広げようと努力することで、後に得られる充実感や達成感がそれまで得たものと全く違うと実感したときに、自分の中でJCの存在やメンバーとして活動する意義が確立され、卒業を迎えるまで続けることができました。

私が現役メンバーの方に自分の経験から何か伝えられるとすれば、事業で自らの想いをかたちにして周囲に学ぶの機会を提供するためには、まずは自らが率先して多くの人と関わりながら学ぶことが必要であり、そこで費やした時間と労力は決して無駄にはならないということは知っておいてほしいと思います。また、青年会議所は意識変革の団体ですが、自分たちが創り出した運動で何かを変えよう、何かを生み出そうと考え行動する経験こそが、青年会議所に在籍している40歳までの間に私たちが学ぶべきことなのではないかと強く感じましたので、是非そういう経験を現役メンバーにはしてもらいたいと思います。

最後になりましたが、入会時から多くの先輩方にご指導をいただき、大変お世話になりましたことに感謝申し上げますとともに、一緒にJC活動をしてくれた現役メンバーの皆様、本当にありがとうございました。



松江 奈美子

2009年12月コンパニオン会社を設立し、経営者として右も左も分からず困っていた時、当時の現役メンバーに「絶対に勉強になるから」と強く言われ、異業種交流会へ参加しました。経営にもまだ慣れず、JCがどんな団体か解らないまま「印鑑だけもってきて」と、半ば半信半疑で参加しましたが、初めての経営者の方々との交流は、とても新鮮で活気があり、大人の学校という言葉に惹かれ、その日に入会を決めました。入会をしてからは、経営の事やJCのメンバーとして、沢山の事を全て先輩から学びました。出向や講演会など成長できる場をより多く与えてもらい、女性だからという甘えも許されず、必死で悔しい思いや苦しい思いも沢山しましたが、今では全てが身になり学びのあるものばかりでした。

一身上の都合で2013年に一度退会をし、その間も様々な経験を重ねていく中で、自分を改めて振り返った時に私の中で「JCの退会」だけがどうしても心残りでした。どんどん会員数が減っていく中で、残された僅かな時間で何かできる事はと考えるようになり、再入会を決意した時は、入会の時よりも覚悟のいるものでした。再入会後も短い期間ではありましたが、最後にまたメンバーとして皆さんと活動でき、卒業できた事に本当に感謝しています。

宇治青年会議所を通じて、しっかりと自分の思いを見つける事ができ、また会いたいと思える仲間がたくさん出会えました。本当にありがとうございました。

2018年度 理事長所信



2018年度 一般社団法人 宇治青年会議所
第49代 理事長 内良 親正

一路邁進

～変革する勇気と守り抜く覚悟～

はじめに

現在の社会情勢は、地方における都市部への若者流出や少子高齢化による諸問題などに対して、従来から認識されている課題が顕在する一方で、多様化する犯罪や各地で想定外の被害をもたらす自然災害なども発生しており、私たちには、あらゆる変化に対応する行動力が求められます。そして、これらの社会問題はより進行し、新たな想定外の出来事が起こるかもしれません。しかし、先行きが見通せない厳しい時代だからこそ、過度に悲観的になるのではなく、強い情熱を持って「明るい豊かな社会」の実現に向けて進まなければなりません。その為に、私たちは49年前に宇治青年会議所を立ち上げられた創立者たちの理念を守りつつ、時代に即した適切な手段・システムを選択していく必要があります。私たち青年の使命は、先人たちが創り上げてきた想いを変革する勇気と守り抜く覚悟を持って次の世代へと引き継いでいくことではないでしょうか。

地域力を高める まちづくり

私たちの地域は、魅力的な名所や特産品を有し、毎年多くの観光客が訪れています。また、産業においても、近年のインフラ整備により農工商業が盛んに営まれています。しかし、経済的要素だけがまちづくりの指針ではありません。持続可能な地域の発展には、そこに住まう人々の人的要素、教育や治安などの社会的要素、自然や環境といった多くの要素が存在し、バランスのとれた総合的な地域力が必要であると考えます。

特に地域力の向上において、「ひと」という要素は欠くことが出来ません。本年度私たちは、地域資源を活用して人と人、人と地域の繋がりを深め、更に行政・関係諸団体と柔軟に連携することで、そこに住まう人々が地域の魅力に気づき、それを磨いていく運動を展開して参ります。バランスのとれた総合的な地域力は、そこに住まう人々の郷土愛を育み、地域の未来について当事者意識を持って考える機会を提供し、より活性化された輝けるまちへの好循環が生まれる。その為に、私たちは「こんな地域にしたい」というレベルにとどまらず、「こんな地域にしなければならない」という執念を持ち、時代と地域のニーズに応じた運動を青年の発想と発信力をもって取り組んでいく所存です。

新たな能力に目覚める ひとつづくり

私たちは、地域を牽引していく有用な人財になる為、変化を恐れず挑戦し続け、まっすぐ立ち向かうことが必要です。そして、困難を乗り越える為に努力し、次のステージに立った時、また新たな自分自身の足りない部分に気づき努力する。その繰り返しの結果、私たちは成長を続けることが出来るのです。そこには、地位を築くとか、富を得るといった目に見えるものではなく、人間にはもっと無限の可能性があるのでないでしょうか。

青年会議所はお互いを動機づけ、刺激し合う中から切磋琢磨し、新たな能力を開発できる団体です。私たちは、その機会をしっかりと理解して受け身にならず、主体的に行動できる意識改革の場を作ります。そして、何事も変化を恐れず挑戦することによって、新たな自分の能力に気づき、地域を牽引できるリーダーとなる為に邁進して参ります。メンバー各々が足りないものを素直に認め、強みに変える活動を互いに応援し合い、周りの人々の幸せを願う組織となって運動を発信していけば、私たちの住まう地域の発展に繋がると確信しています。

魅力を伝える 会員拡大

人にとって日頃の人脈は大きな影響を与えるのではないのでしょうか。私自身、宇治青年会議所に入会し、多くの出会いを経験しました。そして、様々な職業や思考を持った人と同じ目的に向かって活動する中で、仕事や私生活だけでは得ることの出来ない広い視野を持ち、考え行動する能力を磨くことが出来ました。私は、そういった可能性を宇治青年会議所のメンバーは勿論、地域に住む多くの青年にも経験して頂きたい。

私は、会員拡大を進めるにおいて宇治青年会議所の運動を地域に対して適切に発信して、魅力を伝えることが重要であると考えます。一人ひとりが魅力ある青年となり、自分たちの運動を十分に発信することで同志を多く募っていける。その為にも、私たちが展開する日々の活動・運動に自信と誇りを持って、自分たちの情熱を行動に変えて会員拡大を進めて参ります。

能力を集結させる 組織運営

私たちの活動・運動が、地域の期待に応じて信頼される資質を備える為には、私たちの組織は規律ある強固な運営が求められます。そして、メンバー全員がやるべきことを共有して明確な目的に向かって進んでいくことが必要です。

その為に、効率的かつ分かりやすい会議運営を行い、その決定内容をメンバーに対して迅速に情報を発信していきます。そして、個々の能力を集結させて同じ方向性を持たせた組織運営を目指します。また、仕事・家族・J C活動を全うするには時間管理が大切です。私たちの貴重な時間を効率的に活かして、最大限の効果が得られる運営方法を考え、実行して参ります。

創立50周年へ

49年前、日本が高度成長期の中で青年達が集い、志高く宇治青年会議所が誕生しました。それを受け継ぐ私たちは、積み重ねた歴史と培われた信念のもとに、刻々と変化する環境の中で自身を成長させて、創立50周年、更に次の世代へと引き継いで参ります。

まずは、メンバー全員で45周年に定めた5年間のビジョンを振り返り、変わらず継続していかなければならないもの、時代と共に変化をさせていくものを検証致します。私たちの組織は停滞を防ぎ、絶えず成長する為に単年度制ですが、まちづくり、ひとつづくりには中長期的なビジョンも必要です。一年一年の活動・運動に方向性を持たせ、私たち自身と地域の未来を想い描き、次なる5年間のビジョンを構築して参ります。創立50周年に向けて、すべてのメンバーが一丸となり邁進していく所存です。

結びに

私たちの活動・運動に終わりはありません。私たちは、常に地域に住まう人々の普遍的な幸せを軸に、自ら想い描いた未来に向けて、持続可能な地域の発展を目指していく必要があります。その為に、仕事や私生活で劇的な変化を迎える青年期にこそ、更なる自分の可能性を信じ、勇気をもって新たな挑戦をしていきます。私たちは微力かもしれませんが、決して無力ではありません。同じ時代に生きる青年として、個々が磨いた能力を集結させて、私たちの住まう地域をより良くするという共通の価値観に基づいて、全力で行動して参ります。

新入会員募集！！

＜宇治青年会議所へようこそ＞

宇治青年会議所は設立当時から、“明るい豊かな社会”の実現を目指して、様々な活動をしてきました。この価値ある活動を推進する会員は、自分自身が明るい豊かな社会を築く原動力であるという、高い意識を持ち、常に未来を見据えた行動を起こさなければならないと考えます。

宇治青年会議所では、会員全員がその共通認識のもと様々な活動に取り組んでいます。また、自らの修練と共に多くのメンバーとの「友情」をも育む事が出来る場でもあります。是非、私たちと共に活動しましょう！

- J C の活動を通して地域に貢献出来た気がします。
- たくさんの人たちと出会い、信頼できるたくさんの仲間が出来ました。
- 色々な職業の人たちと知り合い、自分の仕事への良い刺激になりました。
- 事業を達成する事で、大きな充実感が得られました。

＜仕事が多忙なあなたこそ＞

忙しく、J C に参加する時間が無いとお考えのあなたこそ、あえて入会をおすすめいたします。

多くの会員がハードスケジュールに追われている青年経済人である青年会議所では、より効率的な時間の管理方法を身につけ、実り多い時間を生み出す事を目指します。

＜揺るぎない信頼関係＞

様々な職種の20才から40才までの青年経済人で構成されている青年会議所では、共通の認識のもと、ひとつの目的に向かって団結して頑張ります。そのなかで育まれた友情、信頼は何年経っても変わらない絆になります。



Junior Chamber International Uji

一般社団法人 宇治青年会議所

事務局 〒611-0021 宇治市宇治琵琶45-13 宇治商工会議所内
TEL.0774-23-3172 FAX.0774-23-7025
URL <http://www.ujijc.jp> E-mail info@ujijc.jp